

令和6年度 第1回嘉麻市学校給食運営審議会 会議録

- 1 審議会等の名称 令和6年度 第1回嘉麻市学校給食運営審議会
2 開催日時 令和6年10月8日（火）18時30分～
3 開催場所 嘉麻市役所碓井庁舎 3階 研修室1
4 公開又は非公開の別 公開
5 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）
6 出席者
（1）委員
大田 一樹 委員 島崎 洋子 委員 田中 塑与佳 委員
上野 二郎 委員 朝比奈 昌二 委員 北富 真治 委員
石田 英喜 委員 中岡 令子 委員 安倍 詩里 委員
山本 真之 委員 矢野 沙織 委員
（2）行政機関
学校教育課長 田淵 敬三 学校教育課長補佐 石坂 良子
学校給食係 芳野 三樹子 小鶴 文久 松本 良一
7 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人
8 議題及び審議の内容

【議題】

- (1) 嘉麻市学校給食の実施状況等について
- (2) 嘉麻市学校給食調理等業務委託の継続・拡充について（諮問）
- (3) 嘉麻市学校給食調理等業務委託の継続・拡充について（協議）
- (4) その他

【審議の内容】

- (1) 嘉麻市学校給食の実施状況等について

1 実施状況

昨年度からの変更点はない。

2 収納業務の取組

令和5年度の学校給食費の収納率は99.19%で滞納額は1,031,482円

収納率は、昨年と比較して若干上がっている。

3 地産地消について

地場産物（県産）の活用は、異常気象などの影響や生産者からの安定供給ができないなどの理由により、昨年度35.49%から28.39%に減少したため、今後も可能な限り活用できるよう努める。

【意見】 調達する食材を、地元の大きな農園などから直接買い付けをするようなことを将来的に考えた方がいいのではと思っている。給食費の値上げをせず市内業者の食材調達でどこまで給食費を維持できるか、同時に検討する必要があると思う。

4 食育について ※資料のとおり

- (2) 嘉麻市学校給食調理等業務委託の継続・拡充について（諮問）※資料のとおり
- (3) 嘉麻市学校給食調理等業務委託の継続・拡充について（協議）

【質問】 民間委託開始されてからの問題点はありますか。

【回答】 新設の委託3校は、施設設備が新しいため、委託開始から大きな問題もなく調理等業務を行っている。1年毎に行われる民間委託業務内容評価は、校長、栄養教諭から一定の評価を得ている。

【意見】 新規拡充予定校の発注業務は栄養教諭の職務となるため、複数校を掛け持ちながらアレルギー等さまざまな対応をしている栄養教諭の負担にならないように、事務負担も含め軽減できるよう今後検討していただきたい。

【質問】 委託拡充予定校の調理員数は、少ない人数でされているところもあるが、どのような基準で配置数が決まるのか。

【回答】 給食は安全第一なので、汚染作業、非汚染作業と分けており、熊ヶ畠小学校は、20食程で2名配置している。給食室の施設の大きさ、機械の種類で調理員の配置数を決めている。

上記のとおり審議を行い、後日、学校給食運営審議会として答申した。

答申内容は別紙「学校給食調理等業務の民間委託の継続・拡充について（答申）」のとおりとする。

(4) その他

【意見】 学校給食費の維持は保護者にとってありがたいが、献立表を見ると牛肉、フルーツの回数が少なく子供に直結していると思っている。今年6月の文科省の学校給食実態調査によると公立中学校は、4,500円ぐらいで嘉麻市と同じぐらいだが、小学校の平均月額が4,000円のところ嘉麻市は、3,640円で1食あたりに換算したら大きいと思うので、できれば給食費については早急に検討した方がいいと思う。

【回答】 近年の物価高騰の影響もあるため、学校給食費に関しては早急に検討していきたい。

【質問】 食材の調達は市で行うということだが、福岡市では、ある業者が廃業したことにより代替品で対応ということを聞いている。嘉麻市では、起こりえないのか、方向性もどう考えているのか。

【回答】 注文は、献立作成後3週間前に発注し、市内の農産物直売所が納品できない場合は、地元の八百屋に頼んでいる。市外の豆腐やこんにゃくの業者など仕入れ業者を変更するような場合においても、近隣自治体と情報共有しながら対応できるようにしている。

9 配布資料

- (1) レジュメ
- (2) 学校給食の実施状況等について
- (3) 嘉麻市学校給食調理等業務の民間委託の継続・拡充について（諮問）
- (4) 嘉麻市学校給食調理等業務委託実施計画（第2期）
- (5) 2024年度嘉麻市学校給食年間献立計画
- (6) かまっ子～食のおたより～
- (7) その他学校での掲示物
- (8) 献立表

